

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

Q64588
K. Kawaiishi
filed 5/30/01

J1036 U.S. PTO
09/866609
05/30/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年10月 6日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-307094

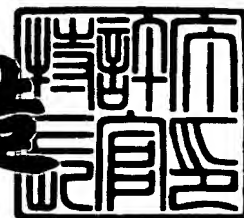
出 願 人
Applicant (s):

キュービーネット株式会社

2001年 2月16日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3007853

【書類名】 特許願

【整理番号】 121501

【提出日】 平成12年10月 6日

【あて先】 特許庁長官殿

【発明の名称】 理容・美容店舗管理システム

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 東京都熱海市林ガ丘町 2 2 - 3 9

【氏名】 小西 國義

【特許出願人】

【識別番号】 399041044

【氏名又は名称】 キュービーネット株式会社

【代理人】

【識別番号】 100072084

【弁理士】

【氏名又は名称】 竹内 三郎

【電話番号】 03-3506-8001

【選任した代理人】

【識別番号】 100103399

【弁理士】

【氏名又は名称】 橋本 清

【選任した代理人】

【識別番号】 100110962

【弁理士】

【氏名又は名称】 市澤 道夫

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 033215

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9907634

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 理容・美容店舗管理システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の理容・美容店舗、業務委託機関、管理本部、オーナーとを通信回線網を介して接続し、各店舗の売上情報、スタッフ情報、顧客情報等を一括管理するようにしたことを特徴とする理容・美容店舗管理システム。

【請求項2】 前記スタッフ情報は、スタッフの在社時間、カット時間を含むものであることを特徴とする請求項1に記載の理容・美容店舗管理システム。

【請求項3】 前記顧客情報は、顧客の性別、年代、来店区分を含むものであることを特徴とする請求項1又は2に記載の理容・美容店舗管理システム。

【請求項4】 前記売上情報は、各店舗の受付に配設した利用券販売機の入金機から送信されることを特徴とする請求項1乃至3に記載の理容・美容店舗管理システム。

【請求項5】 前記スタッフ情報及び前記顧客情報は、各店舗の散髪用座席近傍に配設した情報入力端末装置から入力されることを特徴とする請求項1乃至4に記載の理容・美容店舗管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、複数の理容・美容店舗における売上情報、スタッフ情報、顧客情報等を一括管理することができる理容・美容店舗管理システムに関する。

【0002】

【従来技術】

従来、理容・美容店舗に関しては、理容師、美容師自らが個人的に営業するものが大多数であったが、最近にあって、複数の理容師、美容師を複数の店舗において雇用し、チェーン展開するものも増加するようになってきた。そして、このようにチェーン展開するものでは、チェーンに所属する各理容・美容店舗に同一の店舗名称を付し、同様な店舗デザインで営業する場合が多い。

【0003】

しかし、チェーンに所属する理容・美容店舗であっても、実質的には旧態然とした形態で運営されていた。即ち、顧客は到着した順に呼ばれて散髪用座席に着き、整髪後に料金を直接、理容師、美容師に支払っていた。又、各店舗の売上情報、スタッフ情報、顧客情報等は、各店舗の責任者がチェーン本部に電話、書面等によって報告していた。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

このように、チェーンに所属する理容・美容店舗であっても、実質的には旧態然とした形態で運営されていたから、各店舗の売上情報、スタッフ情報、顧客情報等をチェーン本部が確実かつ迅速に収集することができず、各店舗を管理するのに膨大な労力と時間を要した。又、各店舗における売上を向上し、サービスを改善する方策を立案するのが容易ではなかった。

【 0 0 0 5 】

本発明は、かかる従来の問題点に鑑みて為されたものであって、その目的とするところは、複数の理容・美容店舗の売上情報、スタッフ情報、顧客情報等を確実かつ迅速に収集することができて、各店舗を管理するのに膨大な労力と時間を要することなく、又、各店舗における売上を向上し、サービスを改善する方策を適切かつ迅速に立案することができる理容・美容店舗管理システムを提供することにある。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の理容・美容店舗管理システムでは、複数の理容・美容店舗、業務委託機関、管理本部、オーナーとを通信回線網を介して接続し、各店舗の売上情報、スタッフ情報、顧客情報等を一括管理するようにしたことを特徴とする。

【 0 0 0 7 】

前記スタッフ情報は、スタッフの在社時間、カット時間を含むものとするのが好ましい。

【 0 0 0 8 】

又、前記顧客情報は、顧客の性別、年代、来店区分を含むものとするのが好ましい。

【0009】

そして前記売上情報は、各店舗の受付に配設した利用券販売機の入金機から送信されるようにすることができる。

【0010】

又、前記スタッフ情報及び前記顧客情報は、各店舗の散髪用座席近傍に配設した情報入力端末装置から入力されるようにすることができる。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の理容・美容店舗管理システムの好適な実施形態について、図面を参照して説明する。

【0012】

本発明の理容・美容店舗管理システム1は、図1及び図2に示すように、複数の店舗2、業務委託機関3、管理本部4、金融機関5、オーナー6、スタッフ7とを通信回線網を介して接続したものである。

【0013】

各店舗2には複数の作業区画8及び1つの受付区画9を画成してあり、各作業区画8には作業キャビネット10を、受付区画9には受付キャビット11を設置してある。

【0014】

作業区画8には、図3に示すように、作業キャビネット10に包囲されて散髪用座席12を配置してあり、散髪用座席12の下方にはダストボックス13を配設してある。

ダストボックス13は、後板部13aが開閉自在となっており、この後板部13aを開放して、ダストボックス13内に散髪、塵埃等を掃いて挿入するようになっている。又、ダストボックス13には、後板部13aの開閉状態を検知する開閉スイッチ14を付設してある。

【0015】

作業キャビネット 10 には、図 3 に示すように、前面部に鏡 15 及びカードホルダー 16 を配設してあり、側面部にエアークリーニング装置 17 及び情報入力端末装置 18 を配設してある。

【0016】

エアークリーニング装置 17 は、エアーホース 17a の先端に吸入口 17b を連結してあり、後端は吸引ポンプ 19 に接続してある。そして、エアークリーニング装置 17 を作動して、吸入口 17b を顧客の頭髮に接触させることにより、散髪を吸引するようになっている。

又、エアークリーニング装置 17 のブレード 20 は、作業キャビネット 10 の側面部内部に配設してある。

【0017】

情報入力端末装置 18 は、図 4 に示すように、ディスプレイ 21、操作キー 22、カードリーダー 23、エアークリーニングスイッチ 24 を配置してある。

操作キー 22 は、開店／閉店キー 22a、出社／退社キー 22b、カット担当キー 22c、カット開始キー 22d、確定キー 22e、取消キー 22f、カット終了キー 22g、スクロールキー 22h、テンキー 22i から構成される。

エアークリーニングスイッチ 24 は、エアークリーニング装置 17 を作動させるスイッチである。

【0018】

カードホルダー 16 は、図 5 に示すように、スタッフ用 ID カード 25 を挿入、保持しておくものである。

尚、スタッフ用 ID カード 25 には、スタッフの顔写真、番号、氏名等が印刷されているとともに、当該スタッフに関する個人情報が記録されている。

【0019】

受付キャビネット 11 には、図 6 に示すように、前面部に利用券販売機 26 及びコントローラ 27 を配設してある。

【0020】

利用券販売機 26 は、入金機 28 及びプリンタ 29 とから構成されており、図 7 に示すように、入金機 28 には紙幣挿入口 30 を形成し、図 8 に示すように、

プリンタ 29 には利用券取出口 31 を形成してある。

そして、紙幣挿入口 30 に所定の紙幣を挿入することにより、利用券取出口 31 から、図 9 に示すような利用券 32 が印字、排出されるようになっている。又、図 10 に示すような入金件数表示シート 33 も排出できるようになっている。

【0021】

コントローラ 27 は、図 11 に示すように、表面パネル 34 に入金機動作状態表示部 35、プリンタ動作状態表示部 36、情報入力端末装置動作状態表示部 37 を形成してあり、動作中であるか否か等を確認できるようになっている。

又、コントローラ 27 は、各種機器を制御するとともに、各種情報を処理、記憶する機能を有している。

【0022】

又、各店舗 2 の入口外側には、図 2 に示すように、複数色に点灯するシグナル装置 38 を設置してあり、このシグナル装置 38 により、店内の混雑状況が視覚で認識できるようになっている。

【0023】

図 1 及び図 2 に示すように、業務委託機関 3 にはウェブサーバ装置 51 及びデータベースサーバ装置 52 を配設してあり、各店舗 2 から受信した各種情報を処理、記憶するとともに、管理本部 4、金融機関 5、オーナー 6、スタッフ 7 との間で各種情報を送信又は受信するようになっている。

ここで、各店舗 2、金融機関 5 との間では専用回線を介して、管理本部 4、オーナー 6、スタッフ 7 との間ではインターネット (Internet) を介して接続してある。

【0024】

図 1 に示すように、管理本部 4 には複数のクライアント装置 53 を設置し、これらによって前記ウェブサーバ装置 51 及びデータベースサーバ装置 52 との間で各種情報を送信又は受信し、オーナー 6、スタッフ 7 は自己の所有する適宜クライアント装置 54 によって前記ウェブサーバ装置 51 及びデータベースサーバ装置 52 から各種情報を受信するようになっている。

【0025】

次に、本発明の理容・美容店舗管理システムの作用及び効果を、図12を参照して、操作及び処理手順を示しながら説明する。

【0026】

店舗2に最初に出社したスタッフは、適宜作業キャビネット10の情報入力端末装置18によって開店処理を実行する。

情報入力端末装置18の開店／閉店キー22aを押下して、ディスプレイ21に”開店”という文字を表示させる。次いで、テンキー22iを押下して、開店時の気象状況を入力する。ここで、”0”は晴れ、”1”は曇り、”2”は雨、”3”は雪としてある。

確定キー22eを押下すると、図13に示すように、開店データはコントローラ27に送信され、シグナル装置38は緑色点灯状態となる。

【0027】

店舗2を最後に退社するスタッフは、適宜作業キャビネット10の情報入力端末装置18によって閉店処理を実行する。

情報入力端末装置18の開店／閉店キー22aを押下して、ディスプレイ21に”閉店”という文字を表示させる。次いで、上記と同様に、テンキー22iを押下して、閉店時の気象状況を入力する。

確定キー22eを押下すると、図14に示すように、閉店データはコントローラ27に送信され、シグナル装置38は緑色点灯状態となる。さらに、プリンタ29から当日の入金件数表示シート33が排出される。

【0028】

スタッフは、出社時に適宜作業キャビネット10の情報入力端末装置18によって出社処理を実行する。

情報入力端末装置18の出社／退社キー22bを押下して、ディスプレイ21に”出社”という文字を表示させる。次いで、カードリーダー23にスタッフ用IDカード25を通すと、ディスプレイ21にはスタッフのIDコードが表示される。

そして、図15に示すように、出社データがコントローラ27に送信される。

【0029】

スタッフは、退社時に適宜作業キャビネット10の情報入力端末装置18によって退社処理を実行する。

情報入力端末装置18の出社／退社キー22bを押下して、ディスプレイ21に”退社”という文字を表示させる。次いで、カードリーダ23にスタッフ用IDカード25を通すと、ディスプレイ21にはスタッフのIDコードが表示される。

そして、図16に示すように、出社データがコントローラ27に送信される。

【0030】

スタッフは、カット作業を最初に実施する前に、作業キャビネット10の情報入力端末装置18によってカット担当処理を実行する。

情報入力端末装置18のカット担当キー22cを押下して、ディスプレイ21に”担当”という文字を表示させる。次いで、カードリーダ23にスタッフ用IDカード25を通すと、ディスプレイ21にはスタッフのIDコードが表示される。

そして、図17に示すように、カット担当データがコントローラ27に送信される。

【0031】

顧客は、来店時に、受付キャビネット11の利用券販売機26の入金機28の紙幣挿入口30に1,000円紙幣を挿入する。すると、プリンタ29の利用券取出口31から、図9に示すような利用券32が印字、排出される。

利用券32には、発行日付、発行時刻、利用券番号、店舗番号、利用条件等の記載が印刷されている。

そして、図18に示すように、発券データがコントローラ27において作成され、保存される。又、混雑状況コードが発券データに付加され、シグナル装置38の点灯色が、混雑状況によって緑色、黄色、赤色と変更される。

【0032】

スタッフは、待機している顧客を順番に呼び出し、顧客より利用券32を受け取り、カットを開始する前に、情報入力端末装置18によってカット開始処理を実行する。

情報入力端末装置 18 のカット開始キー 22 d を押下して、顧客情報を入力できる状態とし、テンキー 22 i を押下して、ディスプレイ 21 に利用券番号、顧客の性別、年代、来店区分を入力する。性別に関しては、" 1 " は男、" 2 " は女、年代に関しては、" 0 " は 10 代未満、" 1 " は 10 代、" 2 " は 20 代、" 3 " は 30 代、" 4 " は 40 代、" 5 " は 50 代、" 6 " は 60 代以上としてある。又、来店区分に関しては、" 1 " は新規、" 2 " は再来としてある。

確定キー 22 e を押下すると、図 19 に示すように、カット開始データはコントローラ 27 に送信される。又、混雑状況コードがカット開始データに付加され、シグナル装置 38 の点灯状態が混雑状況によって緑色、黄色、赤色と変更される。さらに、エアークリーニング装置 17 のブレーカ 20 が ON 状態となる。

【0033】

スタッフは、顧客の頭髪をカットして、エアークリーニング装置 17 で頭髪中の毛屑を吸引した後、ダストボックス 13 の後板部 13 a を開放して、毛屑、塵埃等を掃いてダストボックス 13 内に収容する。

ダストボックス 13 の後板部 13 a を開放すると、開閉スイッチ 14 が ON 状態となり、図 19 に示すように、カット終了データがコントローラ 27 に送信される。又、混雑状況コードがカット終了データに付加され、シグナル装置 38 の点灯状態が混雑状況によって緑色、黄色、赤色と変更される。さらに、エアークリーニング装置 17 のブレーカ 20 が OFF 状態となる。

【0034】

以上が各店舗 2 における操作及び処理手順であるが、図 20 に示すように、各処理において作成された各種データはコントローラ 27 に保存され、図 1 及び図 2 に示すように、業務委託機関 3 からのデータ転送命令によってウェブサーバ装置 51 及びデータベースサーバ装置 52 へと転送される。

【0035】

本発明の理容・美容店舗管理システム 1 は、各店舗 2、業務委託機関 3、管理本部 4、金融機関 5、オーナー 6、スタッフ 7 との間を通信回線を介して接続して、各種情報を送信又は受信するようにしたから、各店舗の売上情報、スタッフ情報、顧客情報等を管理本部 4 が確実かつ迅速に収集することができ、各店舗 2

を管理する労力と時間を大幅に軽減することができる。

又、各店舗2の売上情報、スタッフ情報、顧客情報等が確実かつ迅速に収集することができるから、それら情報を分析することによって、各店舗2における売上を向上し、サービスを改善する方策を容易に立案することができる。

【0036】

一方、オーナー6にとっては、売上状況を容易に照会することができ、確実な投資が見込めるとともに、スタッフ7にとっては、カット実績、勤怠状況を容易に照会することができ、正当な評価を期待できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の理容・美容店舗管理システムの概略構成図である。

【図2】

理容・美容店舗における装置構成図である。

【図3】

作業区画における装置構成を示す斜視図である。

【図4】

情報入力端末装置の正面図である。

【図5】

カードホルダーの正面図である。

【図6】

受付区画における装置構成を示す斜視図である。

【図7】

利用券販売機の入金機の正面図である。

【図8】

利用券販売機のプリンタの正面図である。

【図9】

利用券の正面図である。

【図10】

入金件数表示シートの正面図である。

【図 1 1】

コントローラの正面図である。

【図 1 2】

店舗における操作、処理手順を示す図である。

【図 1 3】

開店処理の手順を示す図である。

【図 1 4】

閉店処理の手順を示す図である。

【図 1 5】

出社処理の手順を示す図である。

【図 1 6】

退社処理の手順を示す図である。

【図 1 7】

カット担当処理の手順を示す図である。

【図 1 8】

顧客の処理手順を示す図である。

【図 1 9】

カット作業における処理手順を示す図である。

【図 2 0】

データ転送処理の手順を示す図である。

【符号の説明】

- 1 理容・美容店舗管理システム
- 2 店舗
- 3 業務委託機関
- 4 管理本部
- 6 オーナー
- 1 2 散髪用座席
- 1 8 情報入力端末装置
- 2 6 利用券販売機

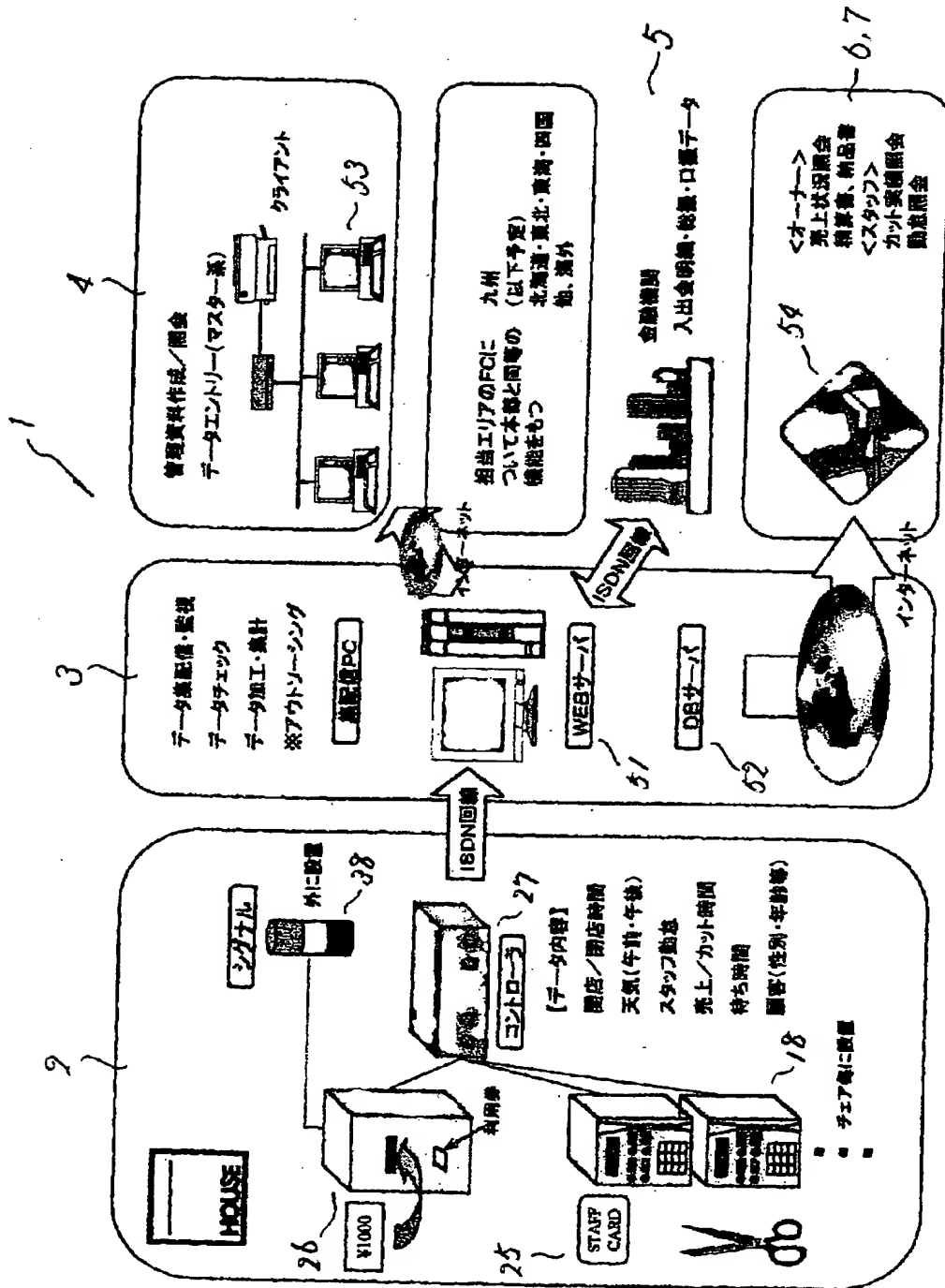
特 2 0 0 0 - 3 0 7 0 9 4

2 8 入金機

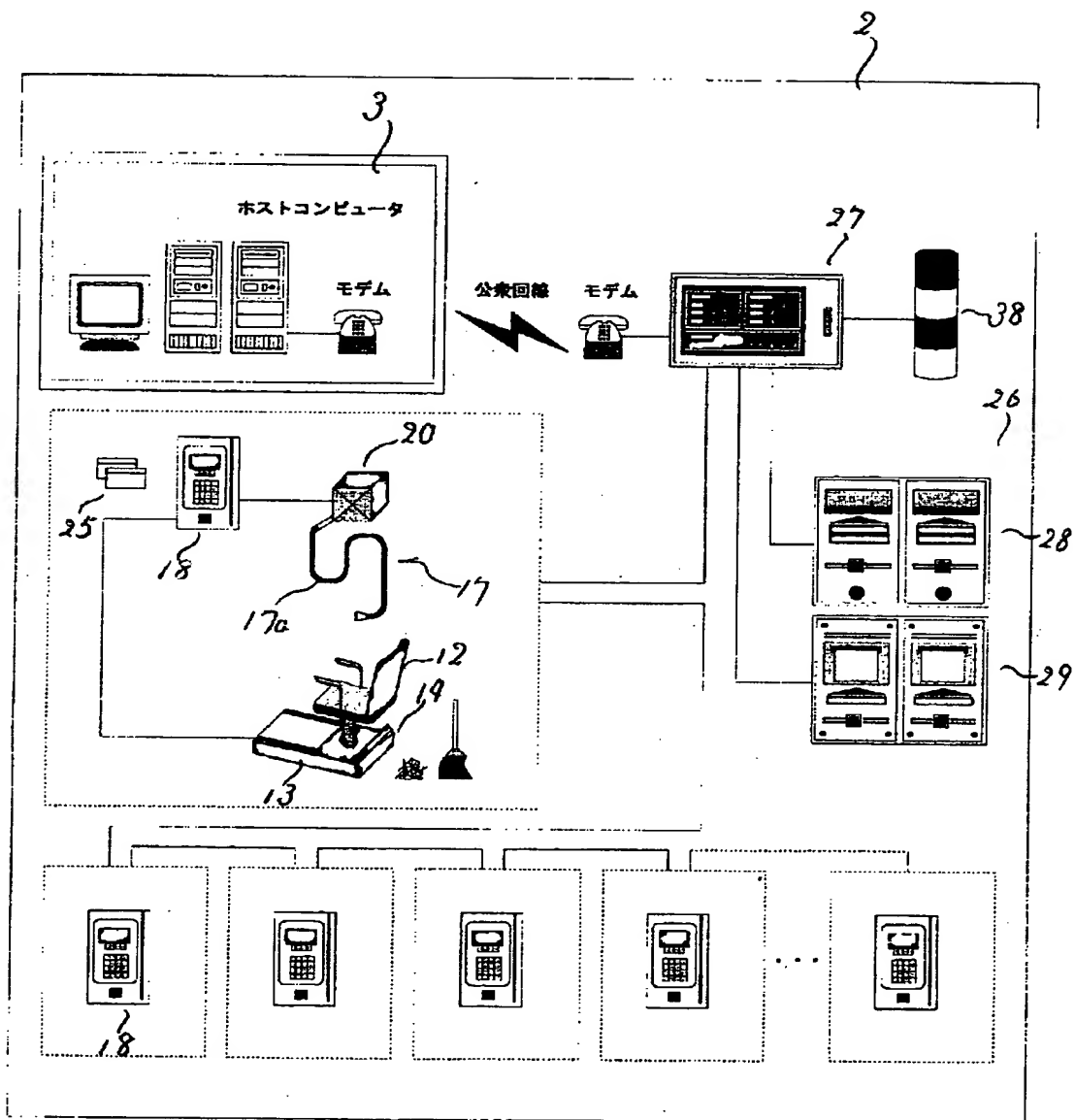
【書類名】

図面

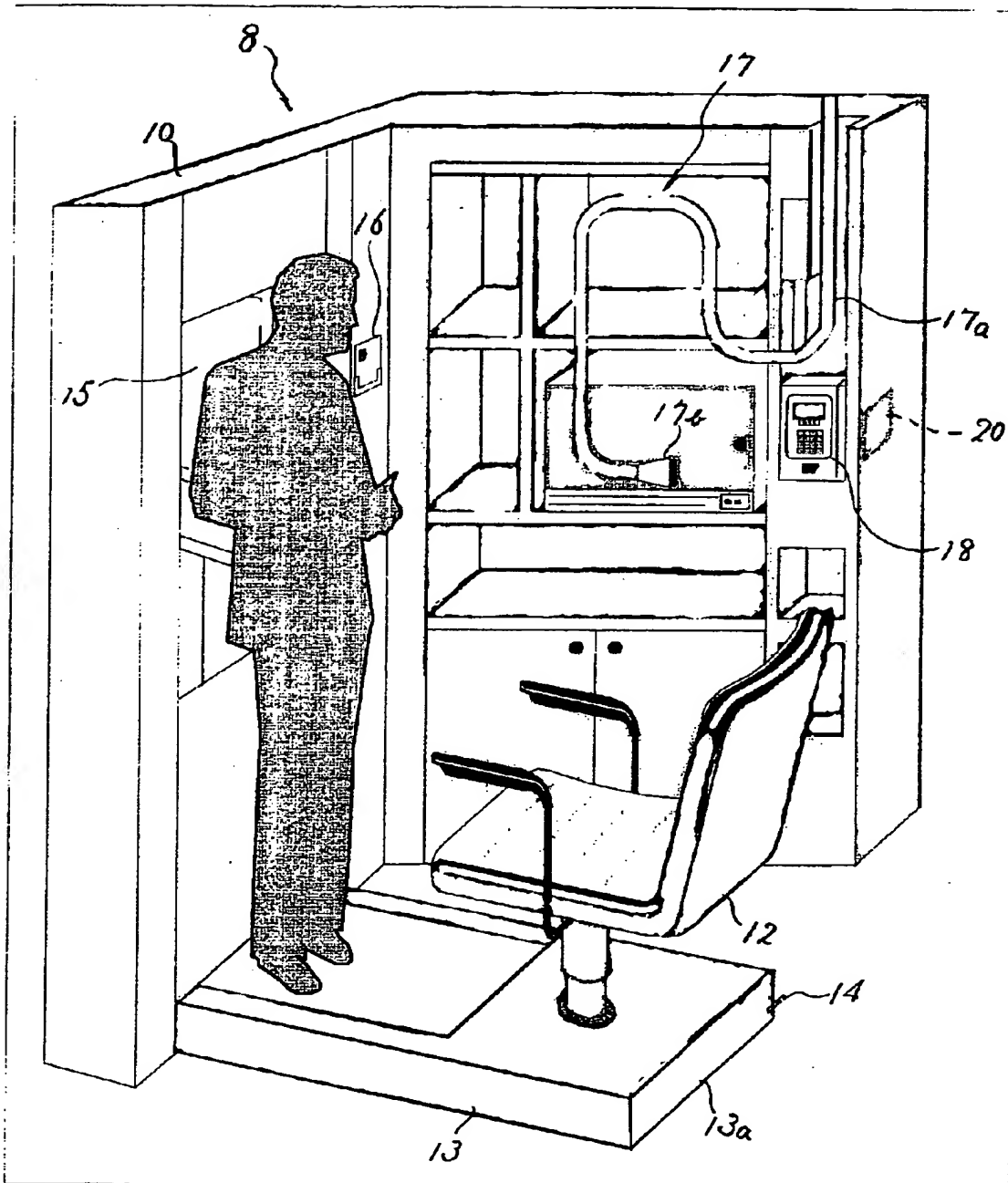
【図1】



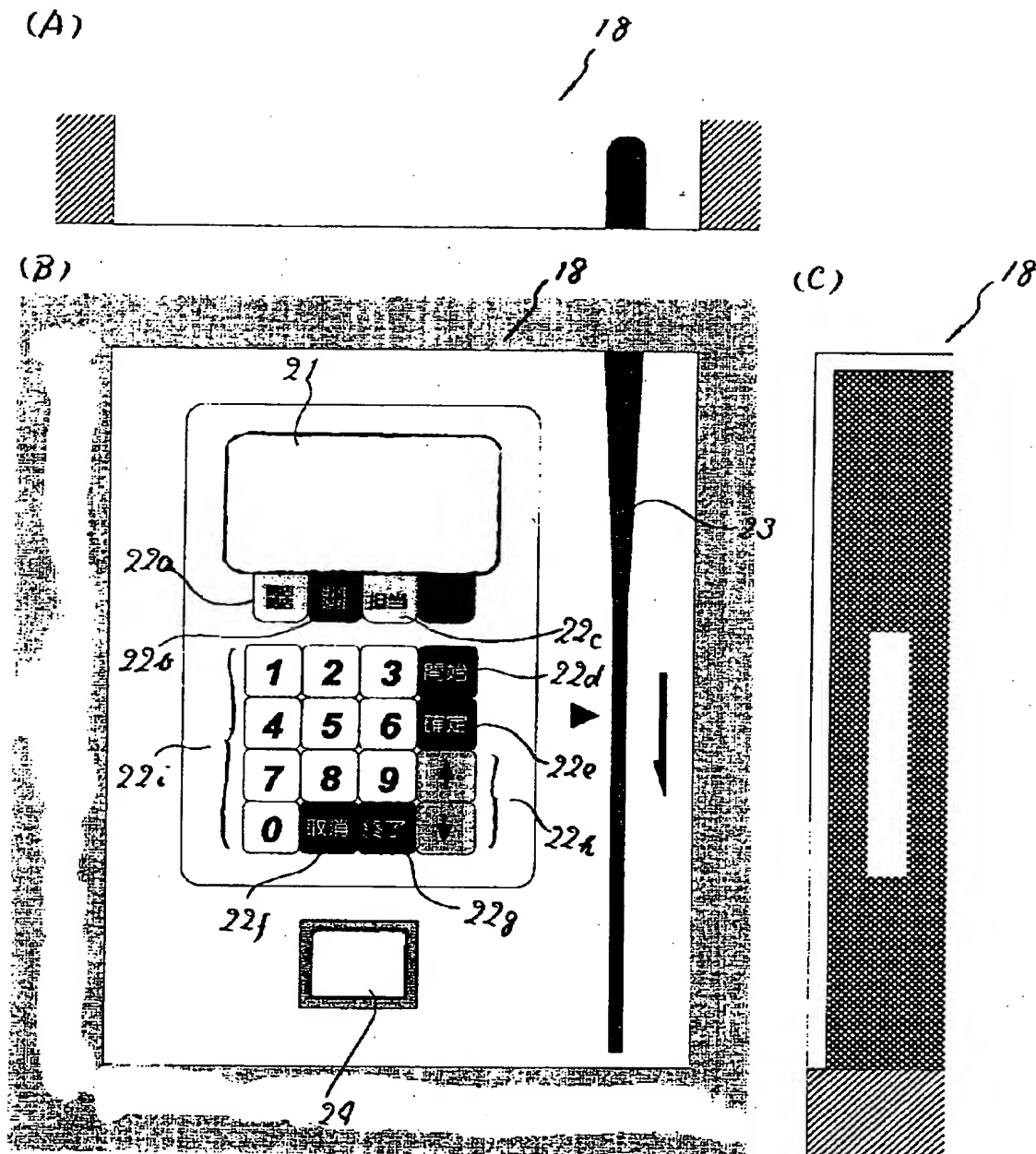
【図 2】



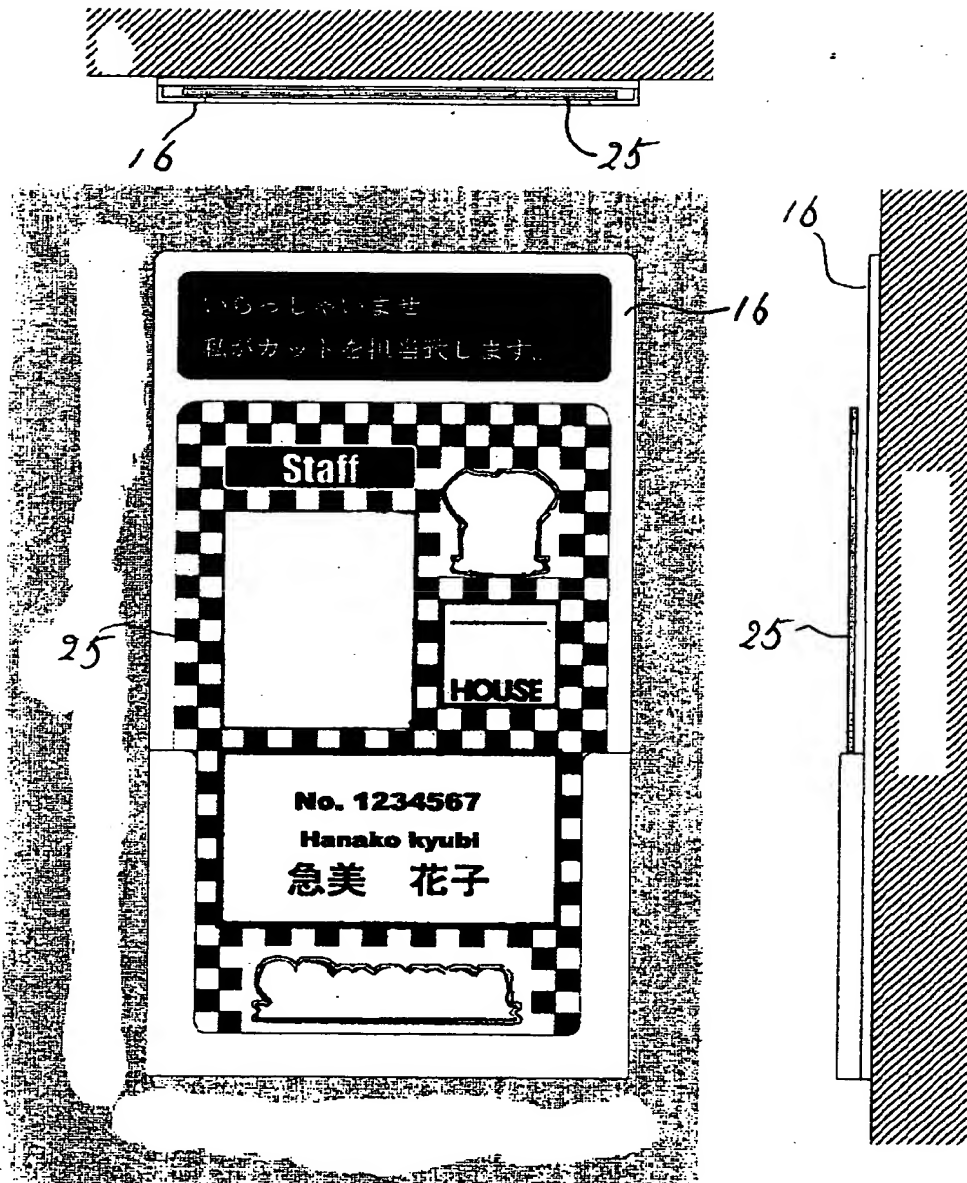
【図3】



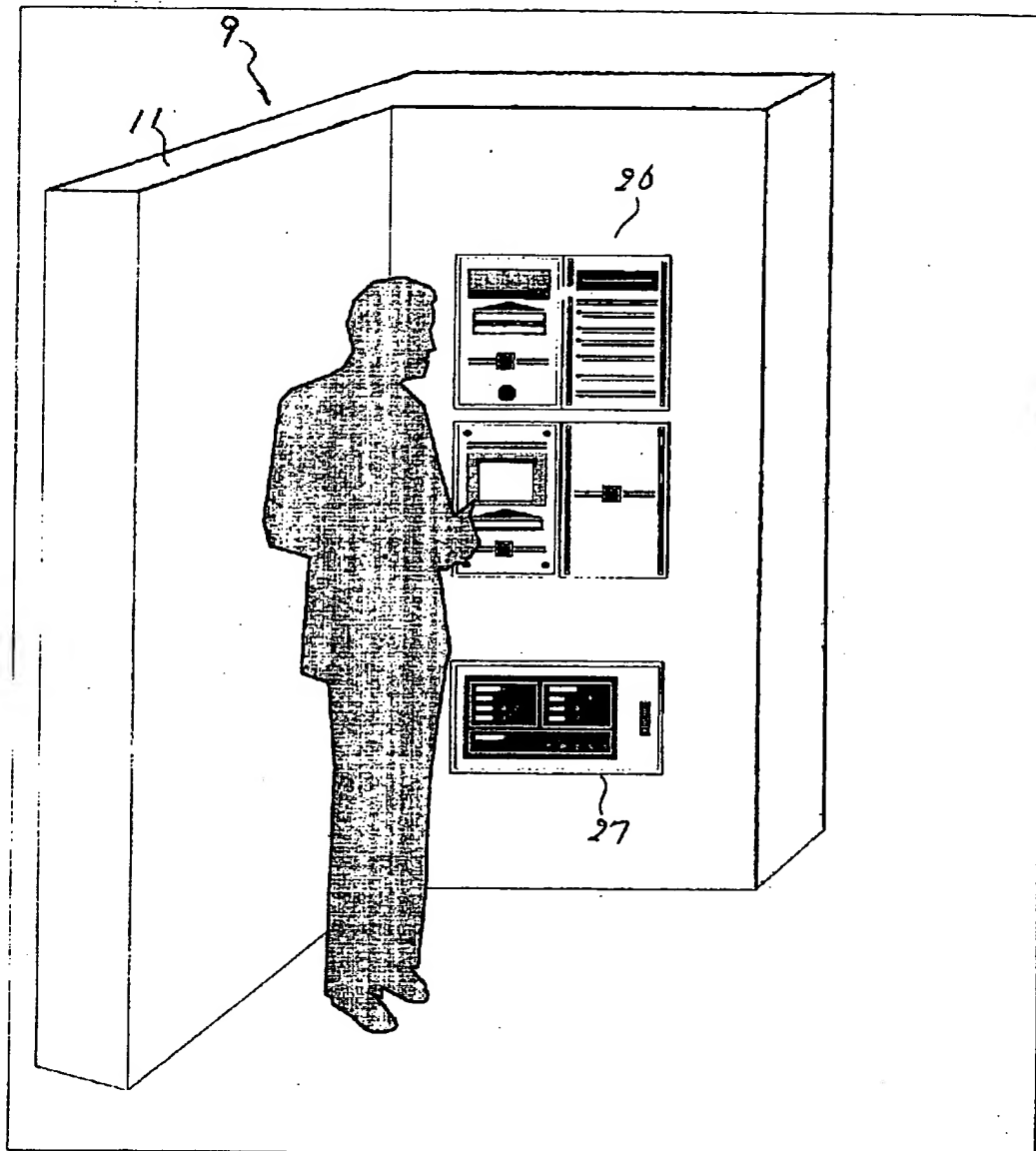
【図4】



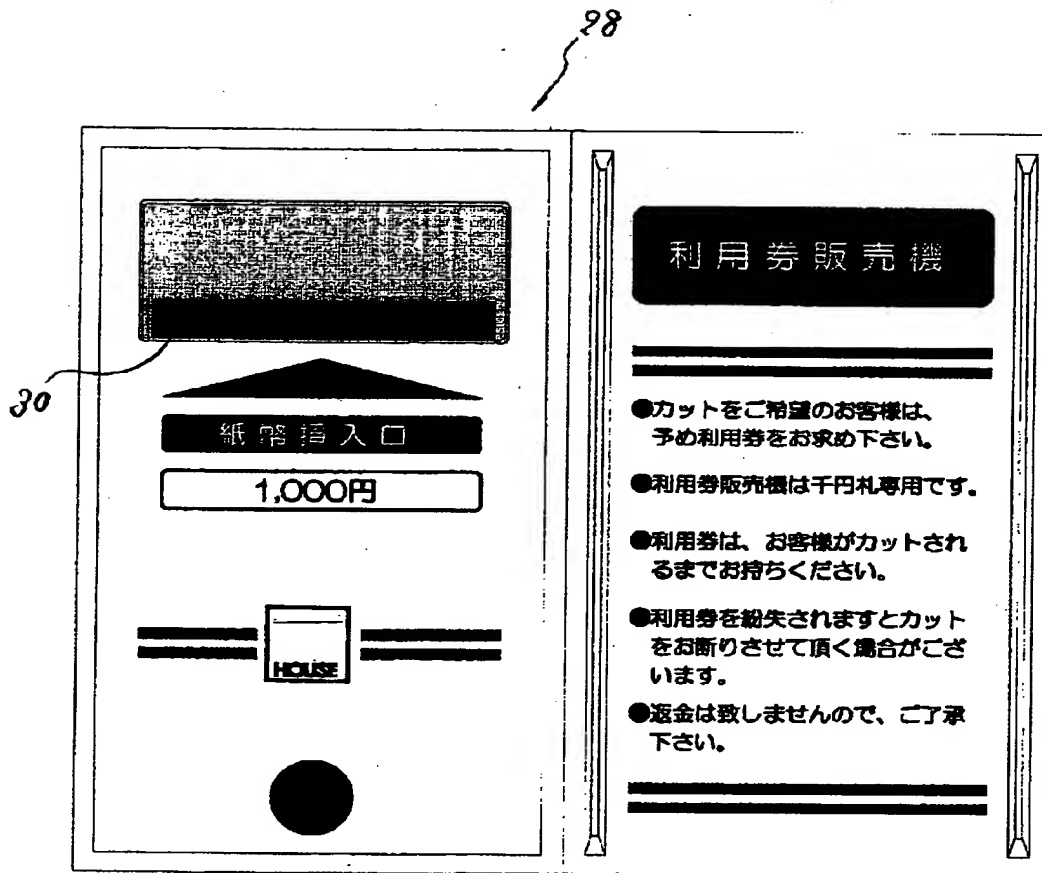
【図5】



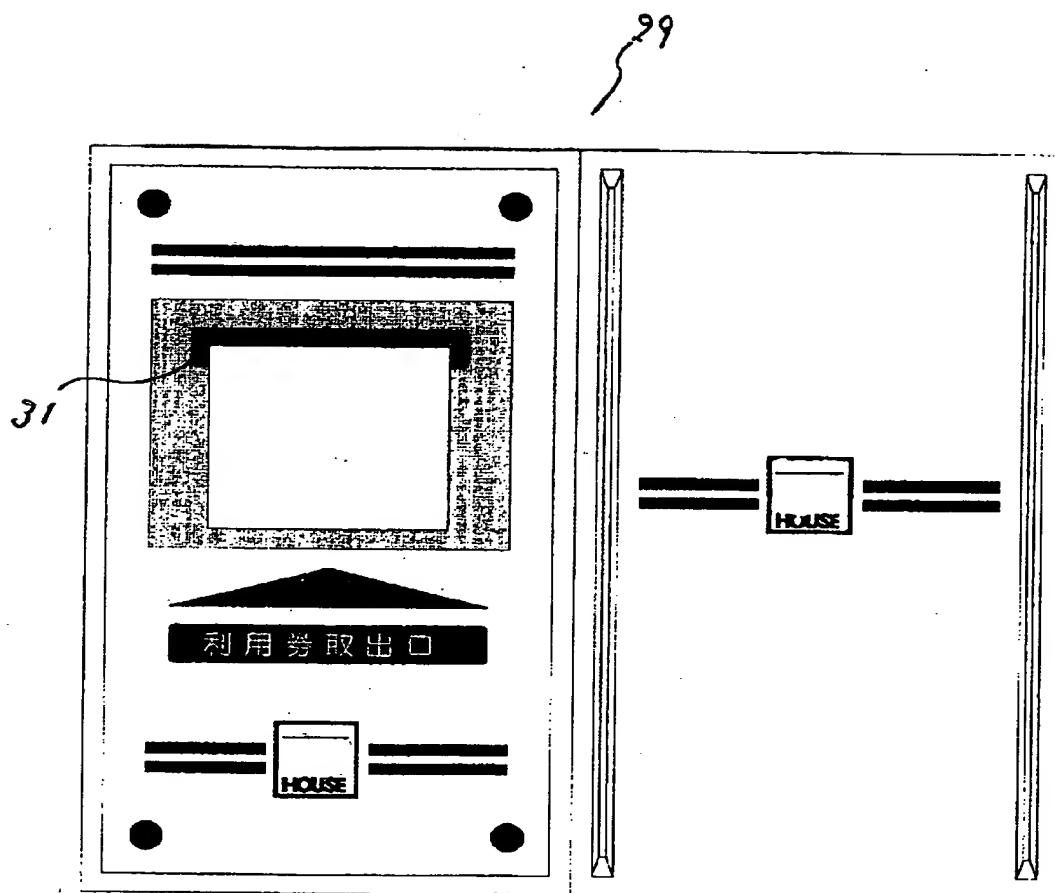
【図6】



【図7】



【図8】



【図9】

QBハウス利用券

NO. 999

12月31日 12時59分

※当日限り有効

店番: 9999

他店でのご利用は
できません。

32

【図10】

入金件数

12月31日 12時59分

NO. 1 : 999件

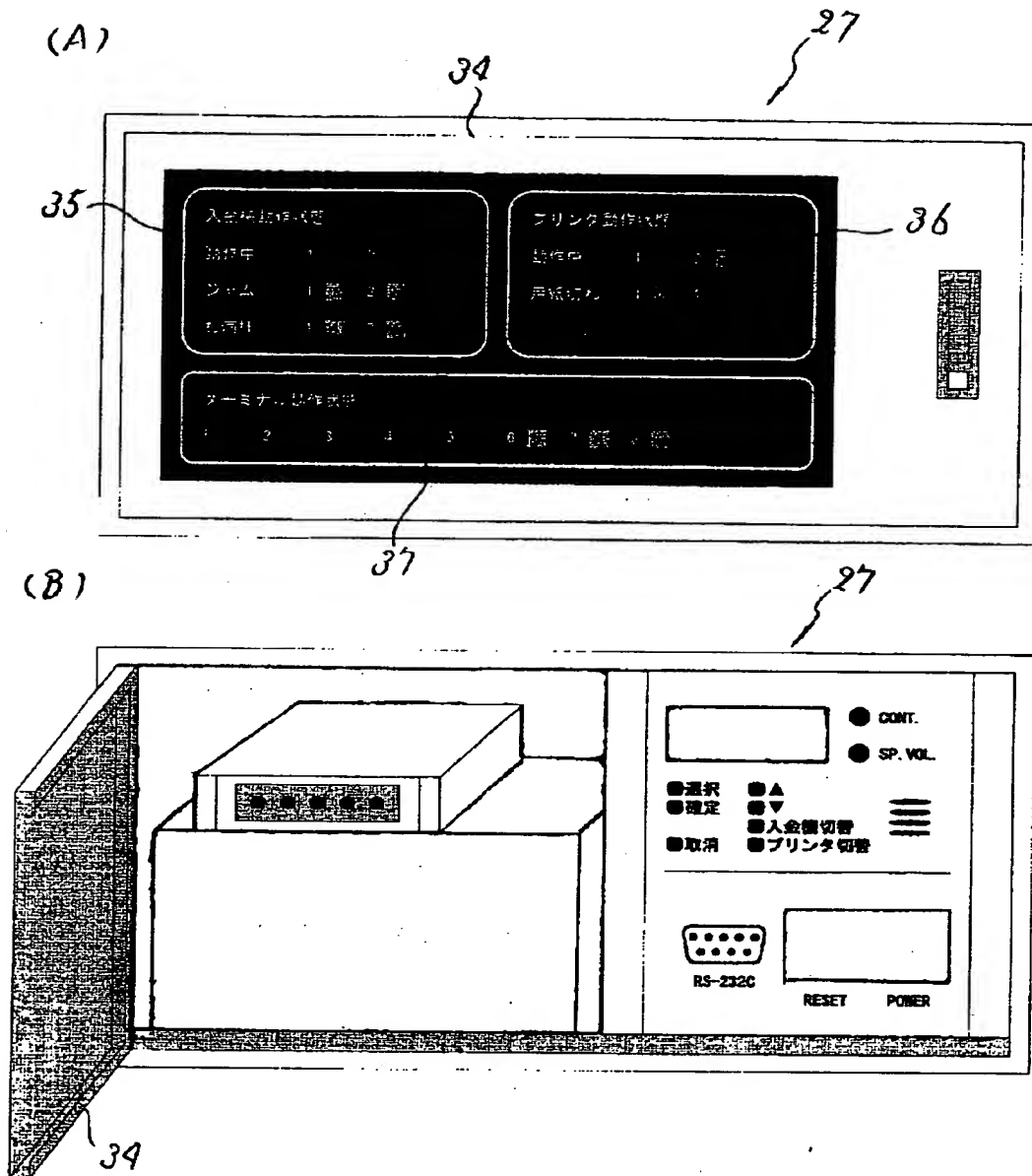
NO. 2 : 999件

合計 : 999件

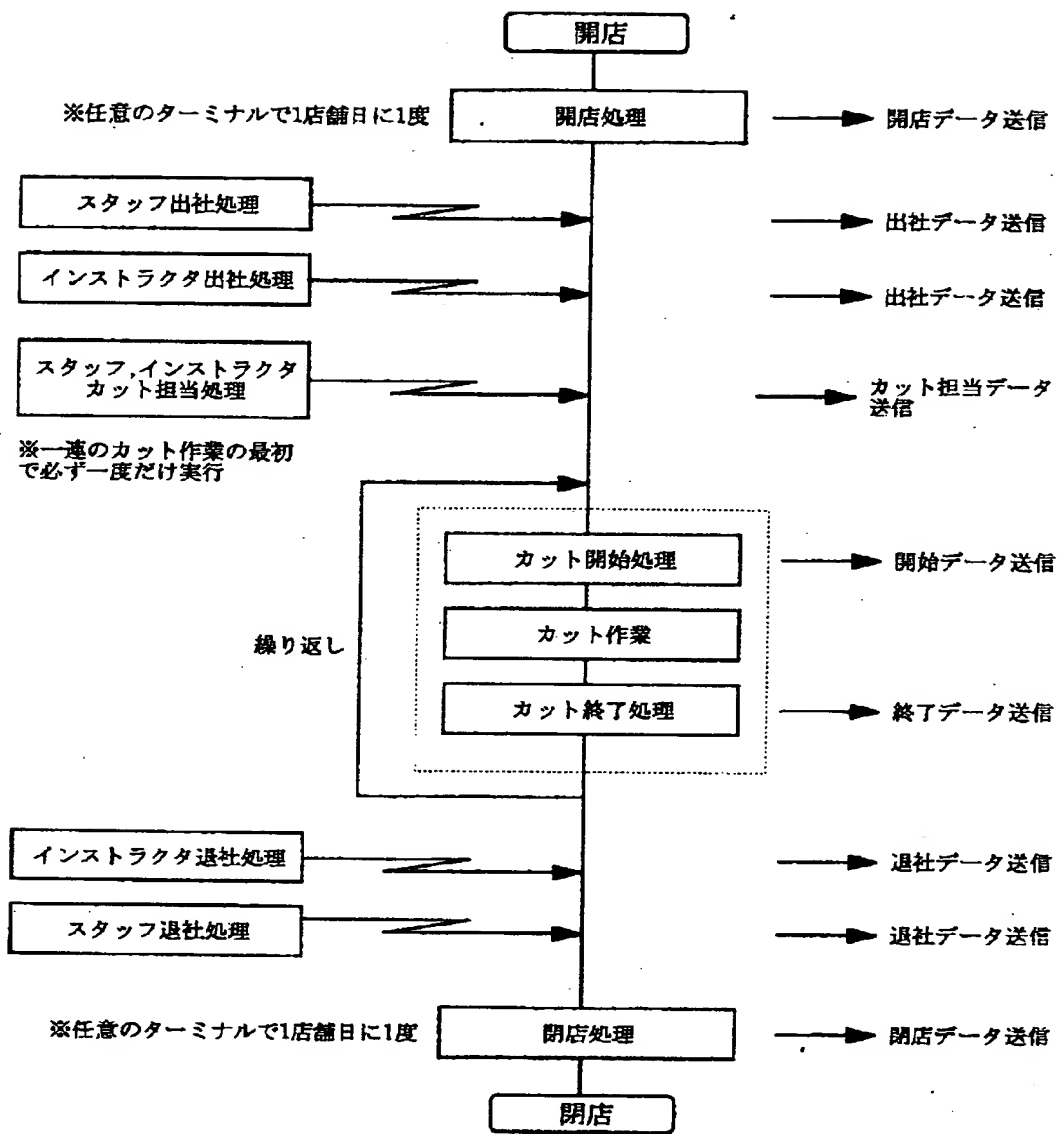
入金者:

33

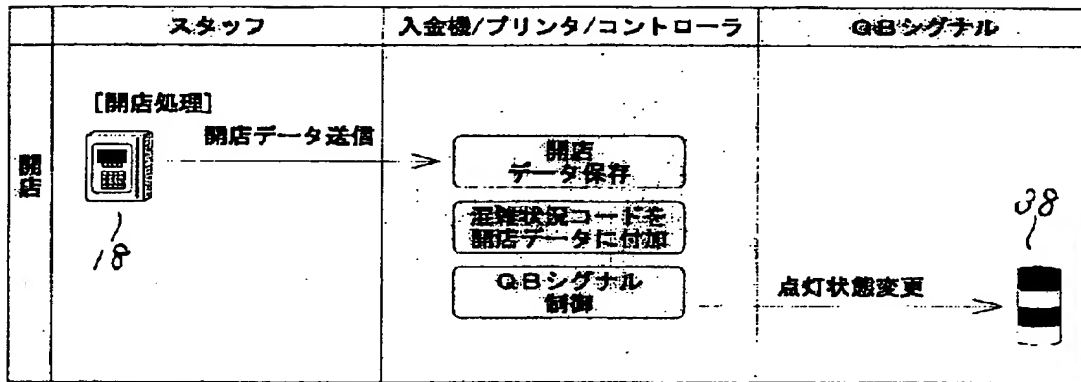
【図 11】



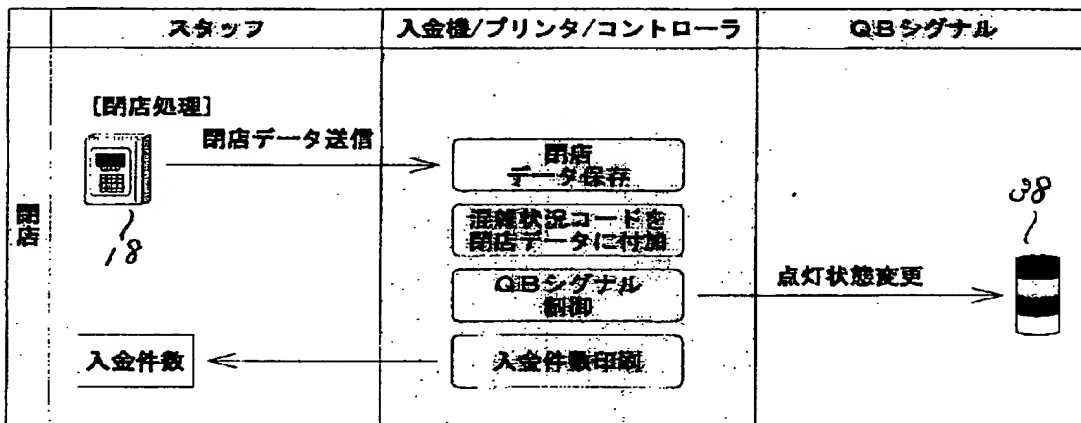
【図12】



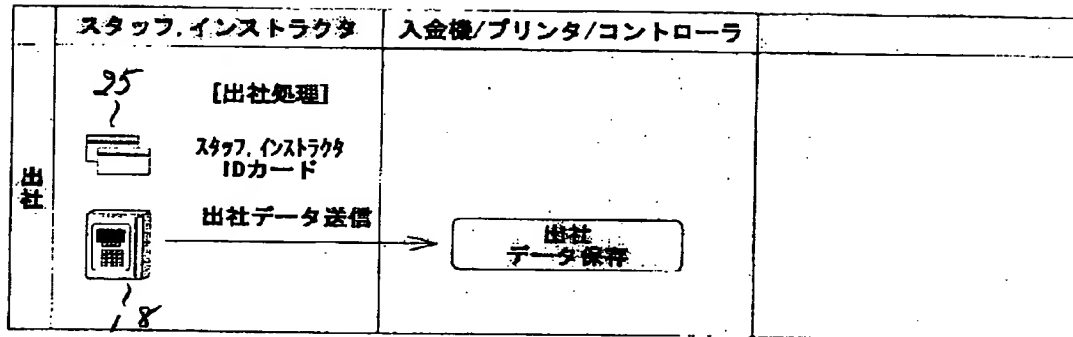
【図 13】



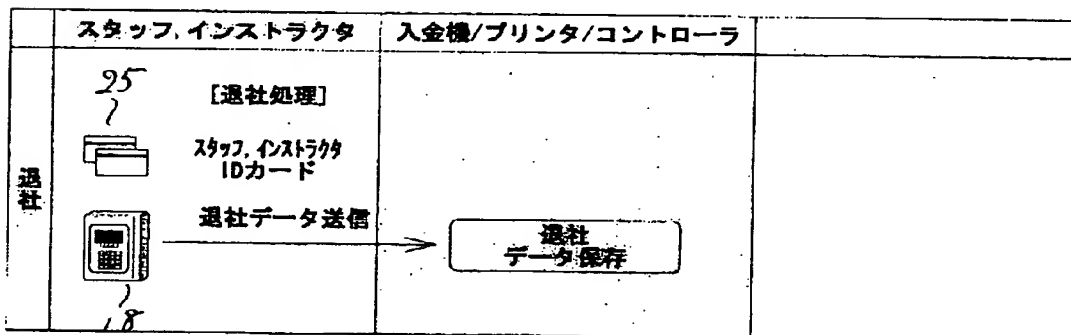
【図 14】



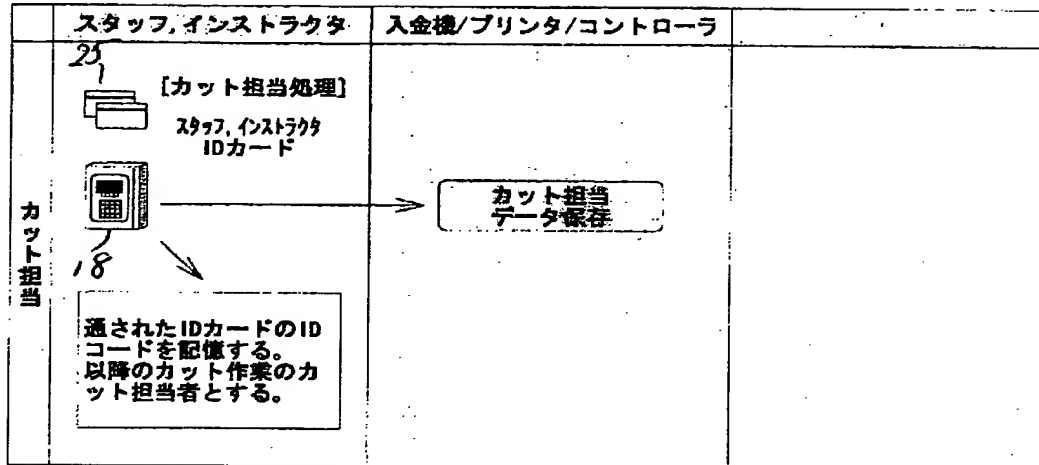
【図15】



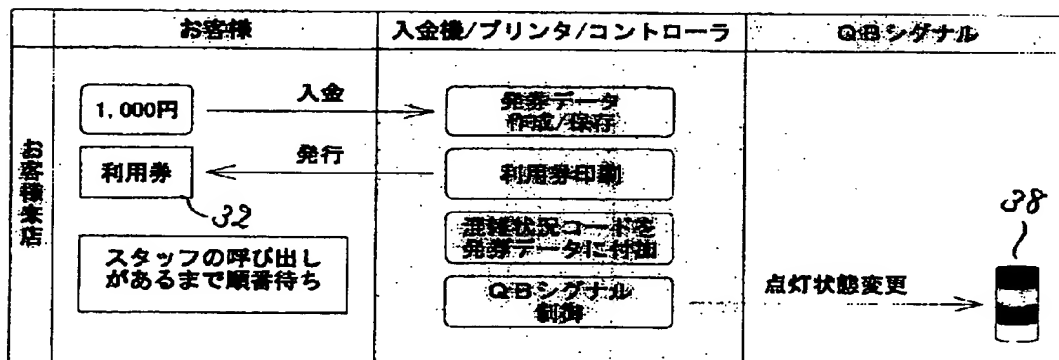
【図16】



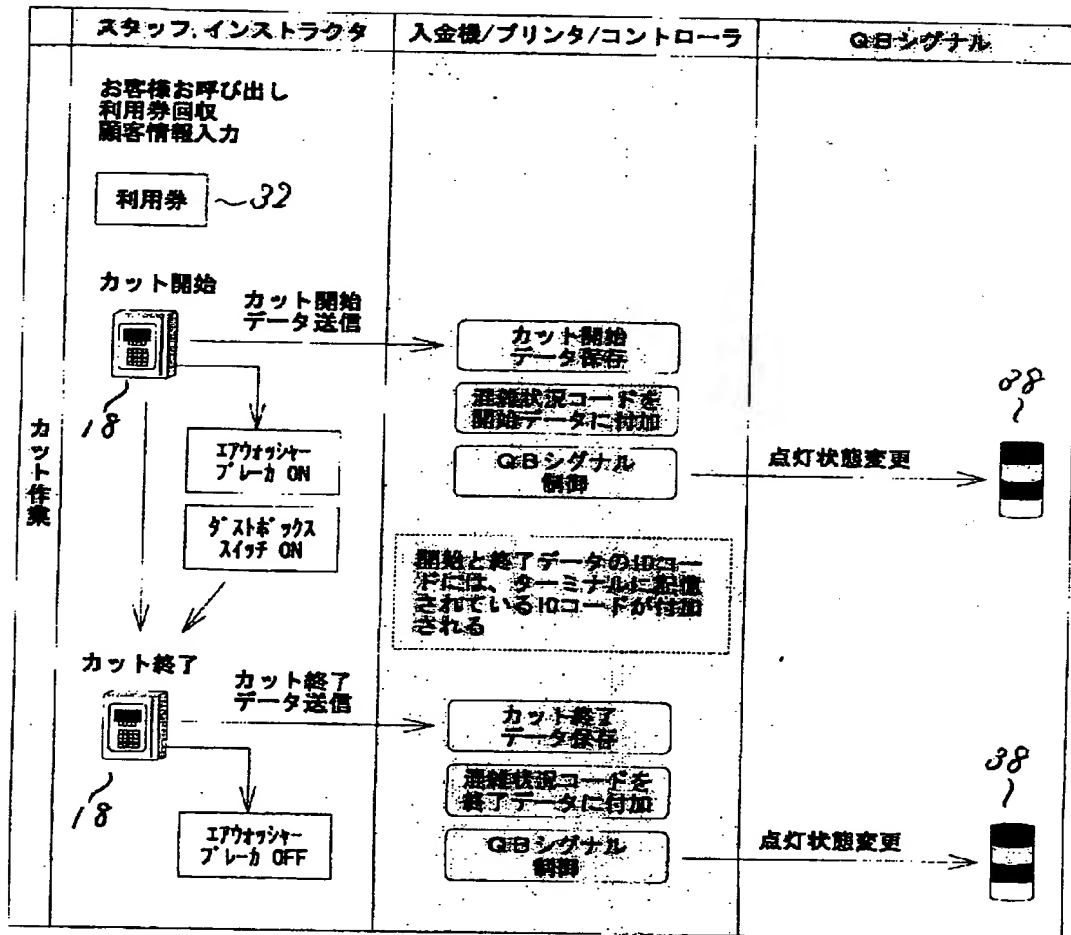
【図 17】



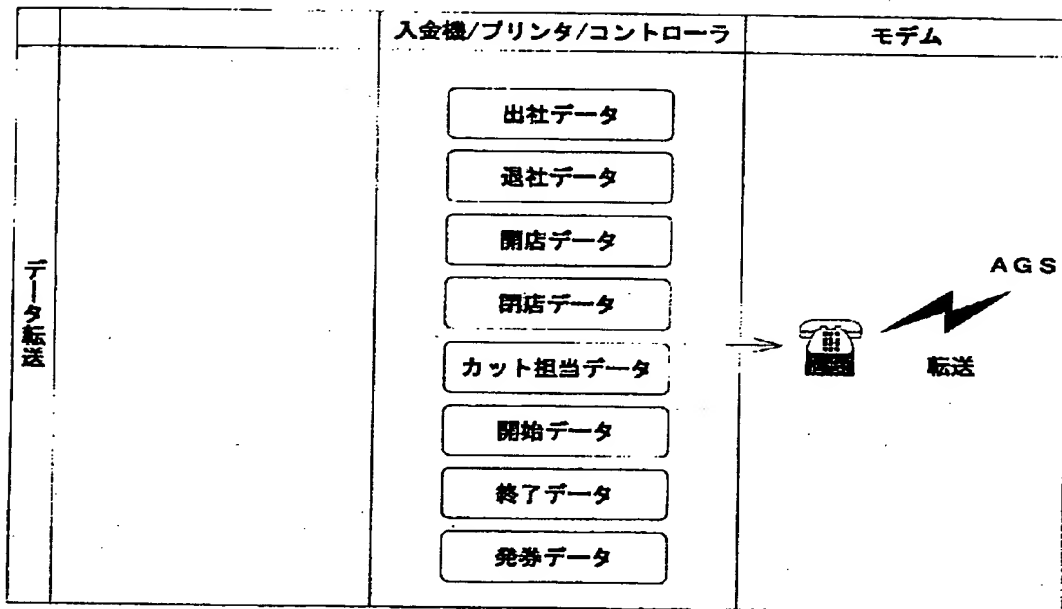
【図 18】



【図19】



【図 20】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 各店舗を管理するのに膨大な労力と時間を要することなく、又、各店舗における売上を向上し、サービスを改善する方策を適切かつ迅速に立案することができる理容・美容店舗管理システムを提供する。

【解決手段】 理容・美容店舗管理システム1では、複数の理容・美容店舗2、業務委託機関3、管理本部4、オーナー6とを通信回線網を介して接続し、各店舗2の売上情報、スタッフ情報、顧客情報等を一括管理するようにした。売上情報は、各店舗2の受付に配設した利用券販売機26の入金機28から送信され、スタッフ情報及び前記顧客情報は、各店舗2の散髪用座席12近傍に配設した情報入力端末装置18から入力される。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2000-307094
受付番号	50001296762
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成 12 年 10 月 10 日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	399041044
【住所又は居所】	東京都中央区銀座 2 丁目 14 番 12 号
【氏名又は名称】	キュービーネット株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100072084
【住所又は居所】	東京都港区虎ノ門 1 丁目 19 番 5 号 虎ノ門 1 丁目森ビル内 竹内国際特許事務所
【氏名又は名称】	竹内 三郎

【選任した代理人】

【識別番号】	100103399
【住所又は居所】	東京都港区虎ノ門 1 丁目 19 番 5 号 虎ノ門 1 丁目森ビル内 竹内国際特許事務所
【氏名又は名称】	橋本 清

【選任した代理人】

【識別番号】	100110962
【住所又は居所】	東京都港区虎ノ門 1 丁目 19 番 5 号 虎ノ門 1 丁目森ビル内
【氏名又は名称】	市澤 道夫

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [399041044]

1. 変更年月日 1999年 7月 5日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都中央区銀座2丁目14番12号
氏 名 キュービーネット株式会社
2. 変更年月日 2001年 1月 9日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都中央区銀座2丁目14番1号
氏 名 キュービーネット株式会社